

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”

～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～



福岡教育事務所・社会教育室

夏休み宿題作戦会議＆アジアの留学生との交流会

～糟屋地区家庭教育支援チーム（かすや子育て研究会かぶとむし）～

令和元年7月20日（土）、サンレイクかすやにて「夏休み宿題作戦会議＆アジアの留学生との交流会」が開催されました。夏休みの初日に、親子で宿題をしながら宿題の見通しを持つこと、大人同士で知恵を出し合いながら、よりよい学習にすることの2つを目的とした集まりとなっています。



【留学生との記念撮影の様子】

さらに、子ども達は4名のアジアの留学生（アウン氏、ジナン氏、シャヒン氏、ジェリー氏）との交流を通して、日記や作文、調べ学習等のヒントをもらうことができました。参加者は、大人25名、就学前から中学生までの子どもが28名と、定員を大幅にこえ、にぎわいました。

1 自習タイム

はじめに、留学生に名前の書き方（留学生の母国語で）を一人ひとり教えてもらいました。それから夏休みの宿題にとりかかりました。

2 参加者ジャンケン

自己紹介と目標の確認（井上氏）

3 留学生の自己紹介



【大人の作戦会議の様子】

4 宿題タイム

参加した子ども達の宿題の種類はおおよそ13種類でした。その宿題の一つだけをやるのではなく、「ちょっとずつ、たくさんの種類の宿題をやる」というテーマのもと10分のサイクルで行いました。途中で、留学生にサインや丸をもらったり、教員スタッフ（鬼丸氏、二階氏、中村美由紀氏）やお母さんからアドバイスをもらったりして、宿題を進めていきました。それと並行して、会場後方に大人だけ集まり、宿題の教え方・考え方の交流・レクチャーを行いました。（内野氏、中村隆氏）参加者のメモが止まらず、頷きがたくさんありました。

5 ことわざの勉強（原氏）

6 参加者活動紹介

2団体から夏休みの子どもの学習の企画が紹介されました。

7 アジアの留学生との交流会（山下氏、安川氏）

最初に、留学生の出身国の場所を地図で確認して、その国のあいさつや基本的な言葉を教えてもらいました。クウェートやヨルダン等は多くの子ども達にとって、初めて知る国だったようです。次に、留学生による絵本「くだもの」の読み聞かせがありました。留学生の国の単語を、子ども達は一生懸命復唱しながら慣れ親しんでいました。最後の留学生への質問コーナーでは、「どんな食べ物が好きですか？」の質問に対して、「朝昼晩カレーを食べている」という答えがありました。子ども達が文化の違いに気付く良い機会となりました。